



## システムの初期設定 Classic $\alpha$ / Premium $\alpha$ 対応

消音システムは、取り付け後に最適なデジタル音源を再生するため鍵盤とキーセンサーの距離を合わせる「初期設定」をする必要があります。

### A. 初期設定の前にご確認ください。

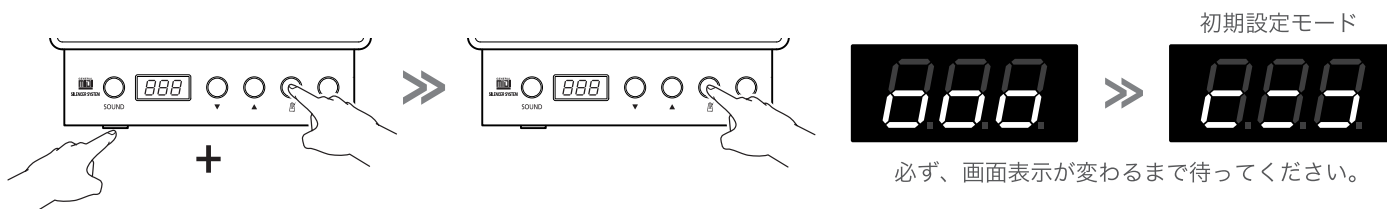
- (1) 本システムの配線連結が完全であること
- (2) 消音レバーが消音位置にあること
- (3) 設定前に鍵盤が押されていないこと
- (4) レットオフ等の消音システムに合ったピアノ調整が済んでいること

レットオフのタイミングですが、シャンクが完全にストッパーの手前で抜けていることをご確認ください。ギリギリで抜けるようでしたら、鍵盤が完全に下がりませんので確実な打鍵ができません。

### B. 初期設定モード

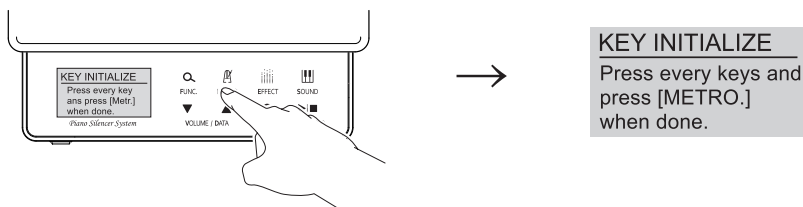
- ① Classic  $\alpha$ : [  ] ボタンを押しながら電源を入れる。

電源ボタンを離し、メトロノームボタンをそのまま3秒程度長押し後に離し、入力待機状態になるまで待ちます。



必ず、画面表示が変わるまで待ってください。

Premium  $\alpha$  : 電源ボタンを押した直後にシステムが起動するまでに、[ METRO. ] ボタンを長押し入力待機状態になるまで待ちます。



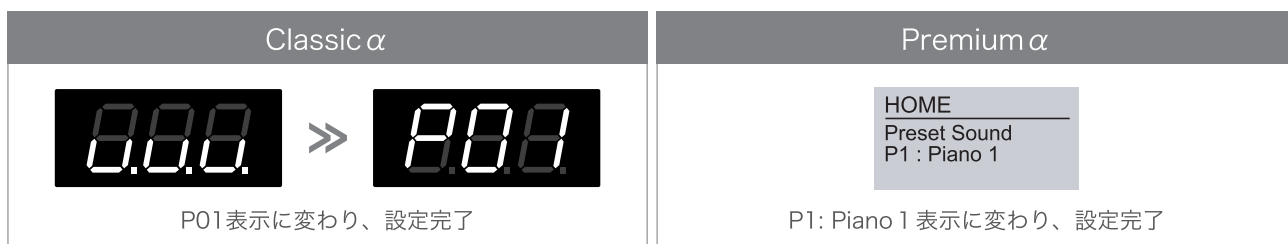
- ② 88鍵盤を半音階にて全てメゾフォルテぐらいの強さでしっかりと弾きます。

弾いた鍵盤が初期化されると1key毎に音を発します。また同じkeyをさらに2秒以上押しと再度音を発し上書きされます。初期化されない（音を発しないkeyが有った）場合は、電源を切って最初の手順からやり直します。

- ③ ペダルも一回づつ踏んでください。

- ④ 88鍵盤とペダルを全て弾いた後に [メトロノーム] ボタンを再度押します。

鍵盤データのメモリーが完了しますと下記の画面に変わりますので演奏可能となります。



- ⑤ 初期設定完了後に鍵盤毎により音量のバランスが気になる場合はユーザー用取扱い説明書の鍵盤毎の音量バランス調整をご覧ください。

一度に初期データが入らない場合、初期データを弾く速度を少しゆっくりと全キーを弾いてください。